

## 新潟大学環境報告書2009 p30「農場の中で農業クイズ」の答

Q. 4種類の野菜の旬



サツマイモ

答. 9月～11月(秋)

露地栽培では5～6月定植、9～11月が収穫です。したがって、秋は落ち葉を集めて焚き火をしながら旬の焼きイモを食べることができます。



イチゴ

答. 5～6月(初夏)

露地栽培で太陽の光を浴びて栄養価が高くなるイチゴの旬は5～6月です。  
ハウス栽培の「越後姫」は1～5月、同じく「とちおとめ」は12～5月が収穫時期となります。



長ネギ

答. 通年

春播き栽培では温暖な地域では3～5月播種、10～4月収穫、寒冷地では2～3月播種、8～10月収穫です。秋播き栽培では9～10月播種、6～8月収穫です。長ネギの旬は地域や品種により異なると思います。したがって、それぞれの品種のおいしい時期にその品種にあった料理法で食べることがよいと思います。



スイカ

答. 6～8月(夏)

旬は6～8月です。新潟県も海岸砂丘地はスイカの産地で全国的でもおいしいスイカが生産されます。

Q. 牛のお母さんは1日にどれくらい牛乳をだす



答. 約2.6 Kg

牛1頭が1日に出す牛乳量は全国平均で約2.6 Kgです。  
(給食で出る200mlの牛乳瓶で約130本)

Q. “たいひ”とは何に使うものですか？



答. 土の状態をより良くするために使う(土を肥やす)

“たいひ”とは「堆肥」と書きます。この報告書では牛のふんを発酵(微生物の力を借りて植物に有用な微生物や養分を作ること)させて“たいひ”を作ります。したがって、農業では土壌に混ぜて使用することで作物が健全に生育することを助けます。